

支え合い、助け合い、励ましあって、つながる福祉

社協だより

— コラボネット宇治 —

宇治市社会福祉協議会
(コラボネット宇治)
キャラクター うじピョン

社会福祉法人
宇治市社会福祉協議会(コラボネット宇治)

〒611-0021 京都府宇治市宇治琵琶45 宇治市総合福祉会館内
TEL:0774-22-5650 FAX:0774-22-5654

URL:<https://uji-shakyo.net> 公式X(旧Twitter):@uji_pyon 発行人:宮本 隆司

福祉委員(地域ボランティア) 募集中です!



世代間交流として
行われている
伝承遊びの様子



地域で暮らす
一人暮らし高齢者の方
を対象に配食をされた
時の様子

宇治市内の概ね小学校区ごとに組織される小地域のボランティア団体「学区福祉委員会」では、高齢者等との交流や見守りを目的とした会食会・配食サービス、地域の世代間交流の取組みなどの活動をしています。

そこで活躍されている「福祉委員」と呼ばれる地域ボランティアの皆さんが、新たな仲間を募集しています。

お住まいの地域でできるボランティアをはじめませんか?

みなさまのお住まいの地域にある学区福祉委員会におつなぎします。
詳しくは、宇治市社会福祉協議会(0774-22-5650)までお問合せください。

阪神・淡路大震災から30年 ～災害ボランティアの活動を知る～

「ボランティア元年」と呼ばれる1995年。阪神・淡路大震災をきっかけに、多くの人々がボランティアに参加しました。そのときに災害ボランティアに参加した、宇治市災害ボランティアセンター副代表の山本博之さん、当時当会が宇治ボランティア活動センター内に設置した阪神大震災支援センターで事務局(ボランティアスタッフ)をしていた江寄美子さん、中砂弘美さんに当時のお話を伺いました。

「何かしないと」の思い ～参加のきっかけ～

山本さん：当時、近くで大変なことが起こり、何かしないといけないと思っていますと、業務で日帰りの支援に行くことがありました。被災状況を目の当たりにして、「**何かしないと**」という思いと、「**行っても邪魔になるのでは**」という思いの**葛藤**が強くなりましたが、悩んだ末に思い切って被災地に行きました。

江寄さん：私は、それまでも様々なボランティアに参加していたこともあり、「**何かしないと**」と思い、行きました。

中砂さん：私は、**誘われて**だったと思います。神戸に親戚がいたこともあり、身近な場所で大変なことが起きたと思いました。当時から手話サークルに所属していたので、手話通訳者としてボランティアに行きました。

ボランティアは何をする？ ～現地での活動～

江寄さん：発災の1週間後には、「**何かしないと**」という思いで息子と芦屋の体育館へ行きました。そこで、避難所にいる方々にご飯を配っているとき、じっとしている人がいました。声をかけると、ろうあ者でした。聞こえないのでわからない。見てわかる表示をつくって声かけをするようにしました。当時はまだ動かたくてもボランティアの受入体制ができていない状況でした。

山本さん：私は1泊2日でボランティアに参加しました。中学校に行き、1日目はドラム缶のお風呂に入るお手伝いをして、教室に寝泊まりしました。2日目は指示も、できることもなく、何をしたらいいか聞くと、「**子どもと遊んだってくれる？**」と言われ、子どもと遊びました。想像していたボランティアと違い、戸惑いもありましたが、遊んだ子どものお母さんから「**遊んでくれてありがとう**」と言われ、少しは役に立てたかなと思いました。

中砂さん：当時は、宇治でボランティア活動センターをつくるかどうかの時期で、ノウハウなどはなかったですが、ニーズを聞いたりしていました。事務局では、印刷や他のボランティアさんのお手伝いなどをしました。仕事の合間に夜勤明けでお手伝いに行ったこともありました。

江寄さん：印象に残っているのは、芦屋にある障がい者のための「**なかよしクラブハウス**」との関わりです。阪神・淡路大震災が起こる少し前から関わりがあったので、心配になり連絡をしました。そして、**普段の暮らしを取り戻すため**、宇治市総合福祉会館への一泊旅行を企画しました。宇治駅に着いたとき、なかよしクラブハウスのみなさんが「**空気おいしい!**」と言っていたことが印象的でした。震災後、がれきや粉じんなどがあるところで生活しているのだと改めて感じました。

葛藤とやりがい ～参加後に感じたこと～

中砂さん：私は**事務的なことのお手伝い**が多かったです。ボランティアの需要と供給を考え、受付カードを作っていました。それから20年くらいでシステム化されました。

江寄さん：しばらくして、社協で行き先を決めてボランティアに行くシステムになりましたね。被災された方々は、してほしいことをあまり言わないので、**自分がしたことが相手のためになっているのか**、帰ってから反省することもありました。ですが、**常に気づいた人ができることを**しないと、という気持ちで動いています。

山本さん：経験を積んでも、ボランティアに行くときはいつも悩みます。即決できればいいのでしょうけど、**相手がどう思っているかを考えて葛藤する**。この感性は大切にしたいです。ボランティアに行ったとき、たくさんの活動のごく一部ですが、「**思い**」のやり取りができる感覚があると喜びを感じます。

中砂さん：私はボランティアには行きましたが、本当の大変さはわかっていない気がします。あとからボランティア先でセクハラやパワハラがあったことを知り、**ボランティアを組織化することの大切さ**を感じました。

山本さん：現在副代表を務めている宇治市災害ボランティアセンターは、地域の活動団体が主体となり運営しています。ボランティアと被災された方をつなぐ役割がありますが、普段からの地域福祉が大事です。災害支援は社協だけではなく、NPOや他団体とも連携し取り組むことが大切です。



写真左から中砂さん、江寄さん
手にしているのは阪神大震災支援センターの記録『つなぐ』

宇治市災害
ボランティアセンターの
詳細は、右記QRコードより。



災害ボランティアは特別なことと思いがちですが、「**普段の暮らし**」を取り戻すための活動です。誰かのために何かをしたいという思いで、気づいたときにできることをする。いざという時に備え、普段からのつながりをより大切にしてみませんか。

うじピョンの「地元に出かけよう」



— 催しなどのご案内 —



1 介護家族交流会 「ほのぼのタイム」

(主催:宇治市介護者(家族)の会)

内容 大切な方を介護されているみなさんの交流会です。語り、支え合い、ご自身を大切にするとともに、お気軽にお越しください。

日時 4月4日(金) 13時半～15時
6月6日(金) 13時半～15時 *毎偶数月
第1金曜日開催

場所 宇治市総合福祉会館

申込 予約なし 入退出自由

その他 参加費無料

2 支える家族の会

青年期以降の発達障がい及びグレーゾーン
(主催:才オの会京都)

内容 才オの会では、青年期以降の発達障がい及びグレーゾーンの当事者を支える家族が、悩みや対処法を話したり、相談機関等の情報共有によって、少しでも元気になれる居場所を作っています。月1回の茶話会と年1回のセミナーを行っています。

日時 4月20日(日) 14時～
(基本、毎月第3日曜日14時より)

場所 宇治市総合福祉会館

申込 右記QRコードにて

その他 茶話会は参加費100円

問担当 大宮 珠代

3 傾聴ボランティア 養成講座

(主催:傾聴ボランティアサークル「かかし」)

内容 孤独や寂しさを感じておられる高齢者等の方々に寄り添い、親身に耳を傾ける活動の基礎講座です。
講師:中瀬真弓
(社会福祉法人京都いのちの電話 事務局長)

日時 3月26日(水) 13時半～16時半

場所 宇治市総合福祉会館

申込 宇治市社会福祉協議会(0774-22-5650)、宇治市総合福祉会館窓口でも可

その他 参加費無料 先着順(定員30名)

4 宇治ボランティア フェスティバル& おもいの駅伝

(主催:宇治ボランティア活動センター)

内容 「枠を超えれば地域はつながる—世代、分野を超えた出会いと協働」をテーマにボランティア活動の発表、ボランティア体験、活動紹介展示。また、地域の障がいのある方のおもいをさまざまな表現で発表する「おもいの駅伝」を行います。

日時 3月30日(日) 10時～15時半

場所 宇治市総合福祉会館

申込 不要

その他 入場無料

4,5の
詳細は
チラシ参照
(右記QRコード)

5 ヒューマンライブラリーin 宇治ボランティアフェスティバル

(主催:宇治ボランティア活動センター)

内容 障がいや病いのある人、セクシャルマイノリティ、在日外国人など世間からレッテルを貼られたり、画一的に見られたりしがちな人たちが、生きている「本」(語り手)になり、「読者」(参加者)との対話を通して、多様性を認め合う出会いを創造する取り組みです。

日時 3月30日(日) 13時～14時45分

場所 宇治市生涯学習センター

申込 メール(vorakatu28@yahoo.co.jp)にて
メ切:3月23日 先着順(定員30名)

その他 入場無料

6 大人のための おはなしを楽しむ会

(主催:おはなしたまてばこ(宇治市図書館サークル))

内容 まだまだ寒いとはいえ、日の光に春のおとずれを感じます。ひととき、春の陽射しを感じるように一緒におはなしを楽しみませんか?
お気軽にお越しください。

日時 3月25日(火) 10時～12時(受付9時45分～)

場所 宇治市中央公民館 展示室

申込 不要

その他 参加費無料

問担当 近美(090-9287-8543)

7 ボランティア 募集中!

(主催:ひろのこども食堂)

内容 こども食堂のボランティアさんを募集しています。こどもさん達の笑顔を楽しみに、一緒に楽しい時間を過ごしませんか?
ボランティアさん同士も、ティータイムなどでワイワイ楽しく過ごしています!

日時 月1回、平日の夕方開催(不定期)

場所 天理教中背(なかしろ)大教会
(宇治市広野町一里山56)

申込 メール(hirono.kodomoshokudo@gmail.com)にて

問担当 安村 なつ江

8 要約筆記ミニミニ講座 in東宇治

(主催:宇治市要約筆記サークル「エコー」)

内容 話の内容の要点を絞って文字にする作業を「要約筆記」と言います。これは耳が聞こえない、聞こえにくい方にとって情報を得る大切な手段です。要約筆記のポイントを学んでみませんか。

日時 3月22日(土) 13時半～16時

場所 東宇治地域福祉センター(宇治市五ヶ庄折坂5-149)

申込 前日(3月21日)までに電話(080-6219-7701:岡本)またはFAX(0774-79-3525:林)、メール(ujiecho@gmail.com)にて

その他 参加費無料 定員20名(筆記用具をご持参ください)

問担当 岡本(080-6219-7701)

9 英語のKAI

(主催:英語のKAI)

内容 学校で好きだった英語を思い出しリフレッシュ。毎回最新の話題をテーマにした英文を読んでもいきます。英会話にも役立ちます。

日時 毎月第1/第3火曜 14時～16時

場所 木幡地域福祉センター

申込 不要 当日参加可

その他 筆記具、参加費1回100円
※他に木幡区サークル区民費が必要な場合有

問担当 黒川 (Osmkw@aol.com)
(080-5071-7347(SMS))

10 ビーバーサロン

(主催:ビーバー)

内容 4月20日は望月櫻先生の椅子ヨガ教室。5月11日はhaneiroさんのハーモニカとよし笛のデュオコンサート。主に視覚障がいのある人を対象とした交流会。

日時 4月20日(日) 10時～
5月11日(日) 10時～

場所 宇治市総合福祉会館

申込 電話(090-8260-2408)
またはメール(kgfy05024@yahoo.co.jp)にて

その他 参加費無料

問担当 大澤 恒是(おおさわ つねゆき)

11 よりそいカフェ

(主催:特定非営利活動法人京よりそい)

内容 不安や悩みの相談を社会福祉士が面談にてお聞きします。(要予約)

日時 3月9日(日)、3月22日(土) 14時半～17時

場所 Arena(宇治市六地蔵町並40-17)

申込 電話(090-5462-5076)にて

その他 コーヒー代として500円いただきます

問担当 泉 二美恵

12 聴いて楽しい弾いて嬉しい 大正琴! チャレンジコンサート

(主催:大正琴ファンタジー・琴音人)

内容 練習は月2回ボランティア演奏や支援学校の授業参加など、様々な活動をしています。今回の定期演奏会「チャレンジコンサート」は大正琴アンサンブルの美しさをみなさまと共に楽しめたらと願っています。どうぞお誘いあわせの上お越しください。

日時 令和7年4月20日(日) 12時半～(開場12時)

場所 宇治市生涯学習センター

申込 不要 当日会場へ

問担当 永谷(090-4036-2186)

補定 ※予定が変更になる場合もありますので、事前のお問い合わせをおすすめします。 ※各団体によって、電話等、不在の場合もありますのでご了承下さい。



赤い羽根共同募金が地域に根差した 社会福祉活動をサポートします

サロン あったらいいな! みんなが集まる近くの居場所 ～Hot! ふれあいサロン事業～

身近な地域でのつながりづくりを目指すこの取組みは、あなたとそのまわりにいる地域の方が主役となる活動です。市内80か所以上が登録中!

- *高齢になっても健康を維持したい
 - *子育て中の親子の仲間づくり、居場所づくり...など
- そんなサロン活動を応援するための共同募金による助成金制度をぜひご活用ください。

宇治市のまちづくり活動をサポート!

～「赤い羽根コラボ助成金」 受付開始します～

市内で活動をする当事者団体、ボランティア活動団体、NPO法人、その他市民団体が実施する、幅広い地域福祉活動を助成金でサポートしています。

いろいろな世代に関わる様々な活動、地域での防災に向けての活動など、ご相談ください。

また、「活動したいけれど、立ち上げまでの費用がない」といった新たに立ち上げる事業は、「新規事業助成」として年間を通じ受付しています。

2025年度(令和7年度)のサロン助成金の申請受付期間

令和7年4月1日(火)～30日(水)(土日祝は除く)

※Hot! ふれあいサロンの助成金申請に関するご相談は、申請受付期間中、随時受け付けています。

2025年度(令和7年度)の赤い羽根コラボ助成金の申請受付期間

令和7年5月1日(木)～30日(金)
(土日祝は除く)

詳しくは Tel : 0774-22-5650 へ



※助成の対象となる条件や申込方法については、改めて当会ホームページ等にて掲載いたしますので、ぜひご覧下さい。



←「ホットサロン月夜」のサロンの様子。
近くに行くところがあると、生活にハリがでます。

【宇治市総合福祉会館の改修にかかるお知らせ】

2月まで行っていた大規模改修工事は終了しました。3月より貸館業務を再開します。貸館利用申請はすでに開始しています。
詳しくは、当会ホームページもしくはお電話にてお問い合わせください。

寄附の お礼



皆様から地域福祉活動を支えるあたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございます。
令和6年7月から令和7年1月末までにご寄附いただいた事業所、施設、団体名は右記の通りです。
(匿名希望の法人等及び個人はまとめて掲載しています。)
寄附金は税控除の対象になります。

寄附金

【匿名・個人】
2件 5,000円

【お詫び】 2024年9月15日号の社協だよりに掲載した、令和5年度の会費ご協力のお名前に一部誤りがございました。心よりお詫び申し上げ、訂正いたします。

団体会費

誤:【25,200円】あい工房

正:【25,200円】宇治市老人福祉センターサークル協議会